

地域の資源と 芸術を組み合わせ 地域を活性化したい	学童保育や子ども会 アート体験教室を やってみよう	現代アートの 展示会をマネジメント してほしい	若者や 面白い人たちに 町にきてほしい
地元の住民が交流が 盛んになるような ワークショップを開催したい	地域に住んでいる人たちが 町に誇りを持つ機会を 創出したい	アートプロジェクトや まちづくりイベントの事務局 業務の一部を委託したい	地域の資源を活かした イベントの企画や 調整を依頼したい
アーティストに 仕事を依頼したい	子どもやお年寄りが 楽しめるコミュニティ スペースをつくりたい	セミナーやトークイベントの パネリストに出てほしい、 ファシリテーターをしてほしい	魅力的なデザインの チラシや冊子、webを デザインしたい

私たち“はなまる”にご相談ください。

飯村 有加
代表理事
コーディネーター



1988年生まれ。奈良市出身・在住。京都精華大学を卒業後、大和郡山市のまちづくり団体に就職。2013年より「はならあと事務局」勤務。2014年-現在、事務局長。地域と芸術の健やかに継続的な関係について、可能性を探る。

たかはし なつき

理事
アーティスト・企画マネジメント



千葉県生まれ。奈良市在住・彫刻家。東京学芸大学大学院彫刻専攻を修了後、福祉の分野で障がいのある人とアート活動を行う。二児の母。2014年より「はならあと事務局」勤務。「体験こそが宝もの」を理念に屋外での子ども向け造形教室を主宰。

村田 典子

理事
アートマネジメント



1975年生まれ。大阪市出身・生駒市在住。一児の母。京都造形芸術大学を卒業後、FUKUGAN GALLERY主宰。国内外で展示会やイベントの企画運営。地域という生活最前線で、思考する芸術の活用を探求している。

監事 前田 展広(前田展広事務所 代表/京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK)所属)
会員 谷 知毅(谷知毅税理士事務所)
内田 千恵(アートディレクター/Art7ten)
英 ゆう(画家/つくる絵画室・だるまROOM 主催)
(2020.3.1時点)

◎“はなまる”の活動に参加したい!

はなまるの活動に賛同し、一緒に活動する仲間(正会員)を募集しています。ご関心をお持ちの方は、お気軽にメールにてお問い合わせください。

◎“はなまる”の活動を知りたい!

はなまるの活動について見学したい、説明を受けたい方はお気軽にお問い合わせください。

◎“はなまる”を応援したい!

賛助会員を一口五千元(年間)より募集しております。活動の内容をまとめた会報を年に一回お届けいたします。

ゆうちょ銀行 店名:四五八 店番458 種目:普通預金 口座番号:2437090 名義:一般社団法人 はなまる

芸術文化に関する企画立案・運営・事務、何でも対応可能です。お気軽にご相談、ご依頼ください。

■お問い合わせ

一般社団法人 はなまる (maru room)

〒630-8114 奈良市芝辻町2丁目6-14

電話: 090-6978-9291 / メール: info@hanamaru-nara.art

hanamaru-nara.art



2019年度

活動記録集



一般社団法人
はなまる

一般社団法人 はなまる

私たちは、芸術をきっかけに、ひとりひとりが自分の中に「はなまる（自己肯定感）」を持ち、他者の中にある「はなまる（違い＝魅力）」を発見し、社会的価値の多様性を育み、暮らしやすい地域社会の創出を目的として活動しています。また、地域社会のコミュニティが分断される現代社会において、文化芸術によって新たなコミュニティを開き、人と人が繋がる地域を創出することで地域活性を目指します。

事業内容

芸術普及事業

日々の暮らしと
芸術を丁寧に繋ぐ

地域活性事業

芸術をきっかけに、
地域の魅力を
未来へ伝える

ネットワーク事業

芸術だからできる
支え合いの形を
提案・発信



理事 飯村 有加・高橋 夏樹・村田 典子

その他当法人の目的を達成するために必要な事業

芸術普及のためのコミュニティスペース

maru room

代表理事飯村の大叔母が残した、昭和の趣が残る奥行きのある戸建て物件を改修。個性的な展示室3室の他に、シルクスクリーン作業場、キッチン（食品衛生責任者在中）、おもちゃルーム、和室、板の間があり、様々な利用方法が可能です。展示の他にも、子ども食堂や子ども向けワークショップ、食に関する勉強会の開催、映画上映会など、芸術と生活が密着した場所を目指しています。建物内では家主（飯村）が娘を育てながら「住み開き」スタイルでオープンしています。



- アクセス
〒630-8114 奈良市芝辻町2丁目6-14
近鉄新大宮駅から徒歩5分、
JR奈良駅から徒歩15分
- URL <http://blog.hanamaru-nara.art>
- Mail info@hanamaru-nara.art
- Tel 090-6978-9291
- 貸スペース 1日1,000円（平日／一部屋）～
- 2019年度助成金
・平成31年度 未来へつなぐ文化活動
ステップアップ補助金
・奈良県善意銀行
・奈良県子ども食堂開設・運営支援事業補助金

maru room おやこ食堂（子ども食堂）

芸術をもっと身近な存在に。お腹を満たして芸術文化に触れ、豊かな心を育むことを目指しています。奈良県産の野菜を中心に、無添加・無農薬の食材にこだわって作っています。中尾亜津佐さんを中心に、お料理上手なボランティアの皆さんに支えられながら、継続的に開催中です。

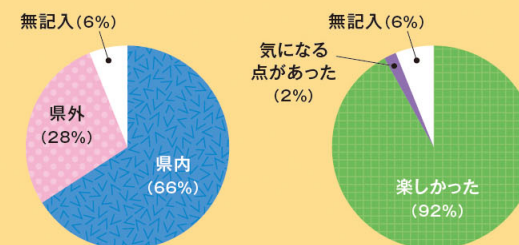


【これまでの活動】

- 6月21日（金）～23日（日） おむすびランチ
- 6月29日（土）～30日（日） おむすびランチ
- 7月21日（日） おむすびランチ
- 8月25日（日） 夏野菜たっぷり重ね煮カレー
- 8月28日（日） おやこ食堂 持ち寄り会
- 9月21日（土）～22日（日） 一汁三菜ごはん
- 9月28日（土）～29日（日） 一汁三菜ごはん
- 10月27日（日） おやこ食堂 with アーティスト
- 11月24日（日）、12月1日（日） キッチンとあったかスープ
- 12月8日（日） 冬野菜たっぷり重ね煮カレー
- 1月11日（土） おむすびランチ



maru room アンケート 回答者:85名(2019年6月～2020年1月)



【県内外比】

こんなことやってほしい!

- ダンボールめいろ (8歳) 絵の具あそび (5歳)
- 針仕事ワークショップ
- 親子でつくるワークショップ ● 演劇やパフォーマンス、実験音楽
- 図工教室など子どもが自主的に何かをつくるような場

いただいたご意見（一部抜粋）

- 表からは想像のつかない空間が広がっていました。豊かな気持ちになりました。
- 楽しかったとしても居心地の良いスペースでした!
- いろいろなことにチャレンジしてほしいです! とても楽しかったです、今後も楽しみにしています。
- とっても楽しかったです。作品も、見せ方も、建築も楽しめました。
- このような場が在るという事はとても大切だと思います。
- とても良かったです。こんな場所が奈良にあって嬉しくなりました。

maru roomはじめての展覧会は、自分のコレクションを自慢するように、生活空間に作品を飾るような展覧会となりました。子育てをしながら制作をするアーティストや、子どもや自然からインスピレーションを得た作品が集まりました。命の力強さや、繊細さ、豊かさを感じることのできる展示となりました。

【期 間】 2019年6月20日(木)～23日(日)、27日(木)～30日(日)

【出展作家】 厚芝 ひろみ、たかはし なつき、夢山 祐子、中尾 めぐみ、牧村 志穂、
長友 紀子、MOMOKO

【企画者】 飯村 有加

【来場者数】 大人80人、子ども20人

【同時開催】 6月22日：H.A.M PRINTERS ーシルクスクリーンワークショップー

6月21日、23日：出張トモニのりぷ ー足圧ほぐしー

6月21日～23日、29日～30日：おやこ食堂



2018年度の“はならあと”メイン展覧会「くず・たみ」の総括を開催しました。

「くず・たみ」準備中に出展作家と当団体理事(飯村)の妊娠が判明、展覧会の翌年、無事に赤子が「うまれ」たお祝いでもありました。“芸術”と“生業(なりわい)”の両立を、非日常の祭りというハッピーな形で探った展覧会「くず・たみ」同様、「くずたみうまれ」も芸術と日常を同じ視点で考察する試みを行いました。

【期 間】 2019年7月18日(木)～21日(日)、25日(木)～28日(日)

【出展作家】 居城 純子、宇加治 志帆、栗田 咲子、権田 直博+N.P.O、佐伯 慎亮、しまだそう、
竹内 カロン、西嶋 みゆき、PIKA☆、水内 義人、家族とスタッフたち

【企画者】 村田 典子

【来場者数】 大人55人、子ども15人

【同時開催】 7月27日：シルクスクリーン似顔絵を作ろう(cumonos)

7月28日：おやこ食堂～赤子を囲んで持ち寄りご飯会

ピカとピッピーのお花畑トーク ～母であったりなかったり～
居城純子の終わりの儀



福岡左知子個展「miamoo.」

本展は数十年にわたり手織りに向き合ってきた福岡左知子さんの個展です。手織りには時として「実用性」が求められ、「消費」されることに評価が与えられます。その「評価」とはまた違う形で表現としての手織りの世界を楽しんでもらう展覧会となりました。会期中は公開制作や出張カフェ、おやこ食堂をオープンし、世代を超えた交流を育む機会となりました。

【期 間】 2019年9月19日(木)～22日(日)、26日(木)～29日(日)

【出展作家】 福岡 左知子

【企画者】 たかはし なつき

【来場者数】 大人85人、子ども20人

【同時開催】 期間中随時「チェキ miamoo.」

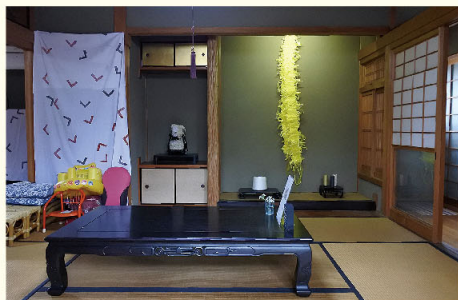
miamoo.と写真を撮ろう!!

9月21日：福岡左知子 公開制作
～ライブmiamoo.～

9月21日：出張六条山カフェ

9月21日、22日、28日、29日：

母と子のおやこ食堂



「The Neighborhood」

たくさんの人が慌ただしく暮らす都市では、隣に住む人のことすらよく知らないこともしばしば。私たちが普段なにげなく接している事柄にも、実は知らない部分は多く、一歩踏み込んでみるととても面白い発見が多くあります。例えば学校でも、在日朝鮮人が通う学校があり、校内の文化は異国情緒に溢れています。特に、本展に参加した大阪朝鮮高級学校美術部の活動は活発で、高校生ながら自己を深く見つめた作品には見応えがあります。本展では、作家本人または指導教員による作品解説や食事交流会を行い、表現活動の本質を見直す場となりました。

【期 間】 2019年10月17日(木)～20日(日)、24日(木)～27日(日)

【出展作家】 大阪朝鮮高級学校美術部

【協 力】 大阪朝鮮高級学校美術部

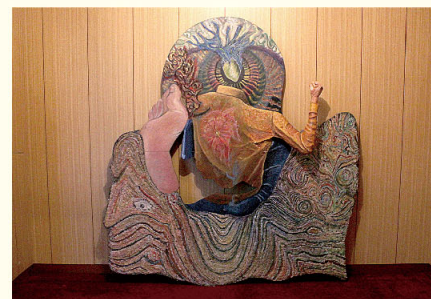
【企画者】 村田 典子

【来場者数】 大人50人、子ども5人

【同時開催】 10月20日：アーティストトーク

10月22日：お出かけツアー

10月27日：おやこ食堂 with アーティスト



本展では、「住居一体型」を特徴とするmaru roomから着想を得て付けられた「着がえる家」というタイトルのもと、旧作のシリーズや、作家が自ら子育てをする中で実践している服と生活の関係を、「お絵かきの服」や「服アルバム」として発表しました。さらに、作家が奈良に拠点を移してからその佇まいに魅了されてきたという飯村赤ちゃん（子ども服屋）でも、特別に協力を得て一部の作品を展示。また、展覧会に先立ち、「料理と服作り」を掛け合わせたワークショップ*も開催しました。（*P12）展覧会を通して、毎日のように行う服を着ることや着替えることの喜びを再発見する機会となりました。

【期 間】 2019年11月21日（木）～24日（日）、28日（木）～12月1日（日）

【出展作家】 西尾 美也

【後 援】 奈良県立大学

【協 力】 飯村赤ちゃん

【企 画 者】 飯村 有加

【来場者数】 大人180人、子ども25人

【同時開催】 11月24日、12月1日：おやこ食堂



撮影◎長谷川 朋也

生活と芸術を同軸上で実践、それを体現しているアーティストmizutama（ミズタマ）。大阪・此花でオルタナティブスペース「FIGYA」を運営しています。拠点をもちながら、美術・音楽などジャンルをまたぐ柔らかな表現活動は、彼の生きざまそのものです。mizutamaの娘（保育園児）を含めた家族チームでmaru roomに泊まり込み、ライブパフォーマンスなどを行い、多くの来場者で賑わいました。もともとmaru roomにあった大きなテレビでのゲームコーナー（展示の一部）は子どもに大人気でした。

【期 間】 2020年1月9日（木）～13日（月・祝）、16日（木）～19日（日）

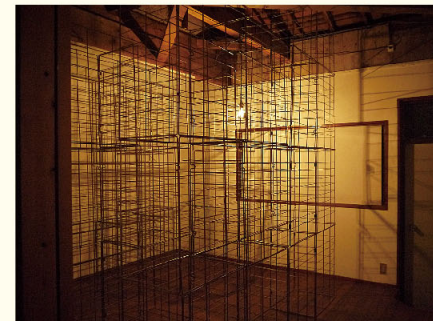
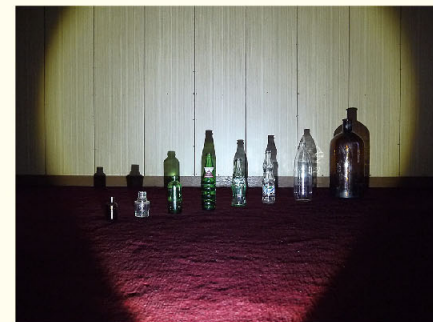
【出展作家】 mizutama

【企 画 者】 村田 典子

【来場者数】 大人120人、子ども20人

【同時開催】 1月11日：子ども食堂とゲーム 「おかんの掃除機」《出演》杉浦こずえ

1月12日：LIVE 《出演》江崎将史、中田粥、池田章太郎とコント



ワークショップ

「真夏のカレー&モビール祭り」

風でゆらゆらゆれて楽しいモビール(動く彫刻)を、身近なモノを使って楽しく工作。テーマは「おばけ」!何才からでも参加OK。2歳から小学生まで皆夢中で楽しみました。「おやこ食堂」も同時オープンしました。



【期 間】 2019年8月25日(日)

【講 師】 英(はなぶさ) ゆう

【参加費】 材料代として300円

【参加者数】 子ども9人



ワークショップ

草木染め講座 「たまねぎの皮で染めてみよう」

身近な材料を使って草木染めをするシリーズ第一回目の講座として玉ねぎの皮で綿のハンカチを染めました。休憩時間にはmaru roomでいつも子どもの見守りボランティアをしている平田さんによるギターと詩吟の演奏会で盛り上がりました。「おやこ食堂」も同時オープンしました。

【期 間】 2019年12月8日(日)

【講 師】

たかはし なつき

【参加費】

材料代として300円

【参加者数】

大人7人、子ども5人



ワークショップ

シルクスクリーンの写真製版にチャレンジ! 「グリーティングカードを作ろう」

maru roomにある露光機を使い、好きな写真や手書きの絵をパソコンに取り込み製版。なんと、スマホの写真でもOK。シルクスクリーンで年賀状やクリスマスカードなど、思い思いにハガキを20枚を刷りました。



【期 間】 2019年12月21日(土)

【講 師】 西嶋 みゆき(cumonos)

【参加費】 インク代等として3,000円

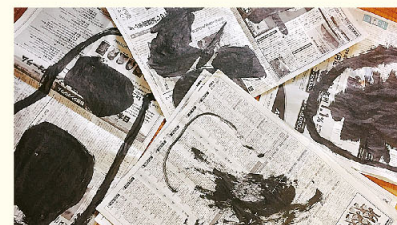
【参加者数】 大人2人、子ども1人



ワークショップ

新春書道ワークショップ 「冬休みの宿題お助けします! 今年の干支を自由に書こう!」

綺麗な文字を書くだけが書ではありません。様々な書体に触れ、ご自身の感性で干支の「子」を色紙に書いてみましょう!色紙はお持ち帰りいただけるので、作品としてお家に飾っていただけます。



【期 間】 2020年1月5日(日)、1月18日(土)

【講 師】 木下 梨

【参加費】 色紙代として500円

【参加者数】 大人3人、子ども2人



参加者は好きな食材を持参し、その「食材」をイメージさせるような「いらなくなった服」を身につけて集まります。持ち寄った食材を用いて、皆で「料理」を行ない、後半は料理と同じような感覚で、「いらなくなった服」を切ったり?焼いたり?して、新しい服を作ります。

【期 間】 2019年11月3日(日)

【講 師】 西尾 美也

【参加費】 無料

【参加者数】 大人5人、子ども2人



撮影◎前川 俊介

小さい子を育てる親にとって、とても大切なメッセージがこもっている奈良の映画「かぞくわり」を上映。助成金を活用し、無料の託児も用意しました。映画上映後は、塩崎監督から現代の家族の在り方について、映画に込めたメッセージについて解説がありました。

【期 間】 2020年2月2日(日)全2回上映

【ゲスト】 塩崎 祥平 監督

【参加費】 800円+ドリンク(小学生以下無料)

【参加者数】 大人12人、子ども1人



地域価値の発掘作業を通して、奈良県の豊かな文化や暮らしを過去から未来に繋ぐ“奈良・町家の芸術祭 はならあと”の事務局を運営。企画立案、全体進行、会計、印刷物進行、ボランティアマネジメント業務を受託。当芸術祭をきっかけに、39件の空き町家が利活用されました。

【主催】 奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会、奈良県 【総来場者数】 13,000人

はならあとこあ 宇陀松山エリア

【期 間】 2019年10月18日(金)~20日(日)、
25日(金)~27日(日)

【出展作家】 アムリタ、関川 航平、Aokid、
武田 力、林 ちゑ

【キュレーター】 渡辺 瑞帆

【まちづくり団体】 宇陀松山はならあと実行委員会



はならあと あらうんど 吉野町上市エリア

【期 間】 2020年2月8日(土)~11日(火)

【出展作家】 栗田 咲子、劇団三毛猫座

【企画者】 村田 典子

【まちづくり団体】 吉野町家守倶楽部



撮影◎長谷川 朋也

美術館を無料で開放し、こどもから大人まで現代芸術の展覧会を通して、日常の見え方や感じ方に变化を与える鑑賞体験を提案する「オープン・ミュージアム・プロジェクト」。第一回として、映像作家の林勇気さんを招聘しました。奈良市美術館として初の大規模映像展となり、美術館の新しい活用方法を提案することができました。また、同時期開催のmaru roomでのmizutama個展や奈良市アートプロジェクト“古都祝奈良”などと合わせて現代美術関係者も多く来場、ご好評いただきました。

【期 間】 2020年1月19日(木)～22日(日)、26日(木)～29日(日)

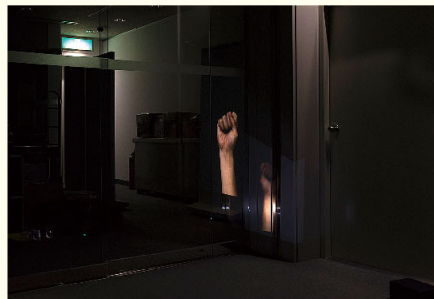
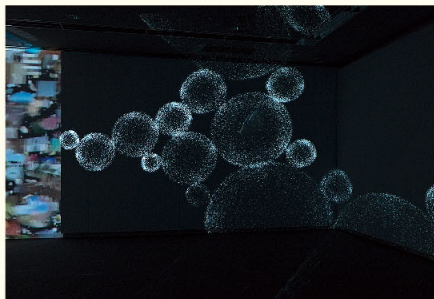
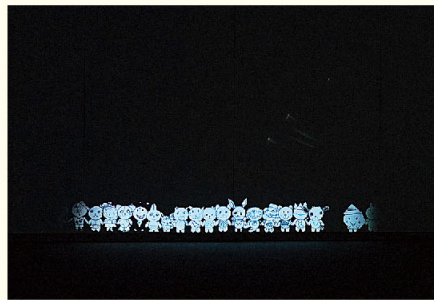
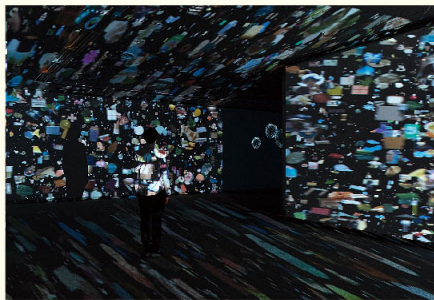
【出展作家】 林 勇気

【企画者】 村田 典子

【来場者数】 1,700人

【同時開催】 1月12日(日)：アーティストトーク

【掲 載】 毎日新聞 2019年11月3日 「児童らアニメ制作体験 映像作家・林勇気さんが指導
2020年1月15日 「子らが描いたキャラ躍動 奈良市美術館で映像作品展」
朝日新聞 2019年10月25日、2020年2月16日 週刊あさすば
京都新聞 2019年12月27日 夕刊くらしインフォ
Lmaga.jp 2020年1月10日「京都出身の映像作家・林勇気、奈良で個展」



撮影●田中 健作

ならまちにある登録有形文化財である築100年の町家「奈良町にぎわいの家」のつし2階にて、展覧会を3企画コーディネートしました。外国人観光客も楽しめるように、掲示物はバイリンガルにしました。



【期 間】 ①2019年6月6日(木)～7月2日(火)

②2019年9月6日(木)～24日(火)

③2020年1月9日(木)～27日(月)

【出展作家】 ①高倉 大輔 「monodramatic」

②Loren Capelli 「Cose naturali - 再生のアート」

③柳澤 景子 「24節気 - 24 Seasons -」

【企画者】 内田 千恵

【来場者数】 2,430人



登壇出演

2019年9月24日(火) KCN 「Kスタ!」ピックアップTHE奈良コーナー
2019年9月12日(木) ほっかほかラジオ「ほっかほか 嘶の朝ごはん」
2019年9月29日(日) 第46回奈良県人権・部落解放研究会シンポジウム
「生活の質を高め、誰もが豊かに生きられる持続可能な社会づくり」
2019年11月17日(日) 日韓ソウルシンポジウム2019
「City, Urban Revitalization and Community」
2020年1月10日(金) NHK イベントナビ

掲載

毎日新聞 2019年7月27日 「マルルーム:子連れで気軽にアート
飯村さん自宅ギャラリーに こども食堂も開く」
産経新聞 2019年8月22日 「子連れで交流、アート鑑賞を
奈良市の飯村さん自宅開放」など
朝日新聞 2019年9月4日 「宇陀の「喜楽座」芝居も復活
27日から各地で「はならあと」」など
読売新聞 2020年2月9日 「吉野活性化 県外から支え」など
奈良新聞 2020年3月10日 「子どもと現代アート 民家活用し展覧会」



寄稿

Hu-RightsNews11月号

ディレクション

奈良市美術館公式web